



OPEN SOURCE NETWORKING DAYS

# OPNFV Testing フレームワークの実体

～Barometerの開発者になってみて～

NEC 高橋敏明



## 高橋敏明

- OPNFVとの関わり
  - Doctor デモの開発
  - Barometer Contributor
    - DMAプロジェクトの成果
    - BugFix

※Doctor: OPNFV 障害管理機能プロジェクト

※Barometer: OPNFV 監視機能プロジェクト

※DMAプロジェクト: KDDI総合研究所、Red Hat、NECが進める  
分散監視・分析プロジェクト

# 本日のプレゼン内容

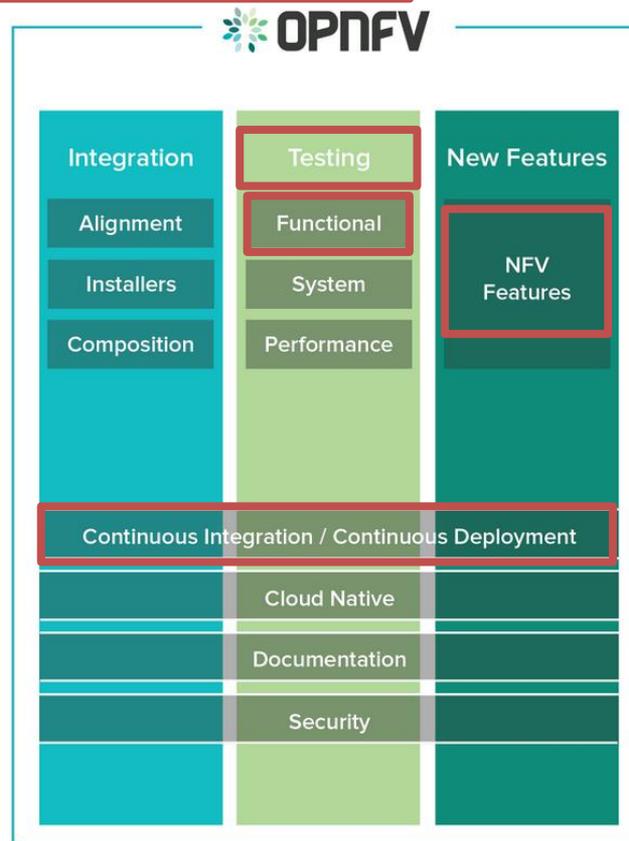


## 本日の主な話題

Barometer Developerとして  
Feature追加をしました。

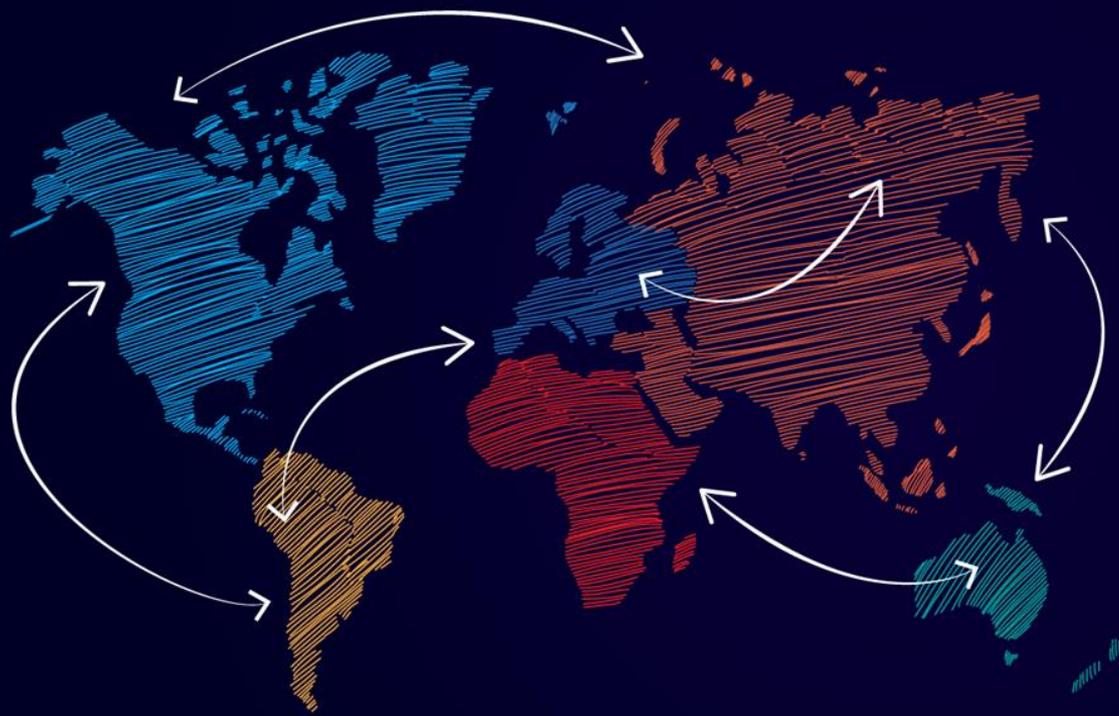
合わせて、機能のTestingに関わる  
部分も開発しました。

これらの経験を通して、  
OPNFVのTestingの実状について  
お話ししたいと思います。





- Testing概要紹介
- 自分たちがやったこと
- トラブルエピソード
  
- まとめ



# Testing 概要紹介

# OPNFV Testingが提供するもの

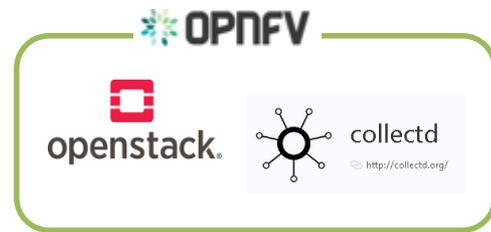


- 機能試験Dockerイメージ
  - Docker run 一発で試験する
- Continuous Integration
  - JenkinsのジョブでCI
- Testing Result Reporting
  - 現状のOPNFV成果物の品質閲覧

# 機能試験Dockerイメージ



 <a href="#">opnfv/funcstest-healthcheck</a> public   automated build	0 STARS	10K+ PULLS	> DETAILS
 <a href="#">opnfv/funcstest-features</a> public   automated build	1 STARS	10K+ PULLS	> DETAILS
 <a href="#">opnfv/funcstest-vnf</a> public   automated build	0	10K+	>



```
# docker run [...] opnfv/funcstest-features:gambia run_tests -t barometercollectd
```

```
.....  
.....
```

TEST CASE	PROJECT	DURATION	RESULT
barometercollectd	barometer	03:29	PASS

```
2018-10-17 08:32:33,329 - xtesting.ci.run_tests - INFO - Execution exit value: Result.EX_OK
```

# Continuous Integration



<https://build.opnfv.org/ci/>



ダッシュボードへ戻る  
状態  
変更履歴  
ワークスペース

## プロジェクト barometer-merge-master

ワークスペース  
変更履歴

ビルド履歴 推後

ビルドID	時刻	ステータス
#224	2018/10/12 15:14	成功
#223	2018/10/10 15:54	失敗

永続リンク

- 最新のビルド (#224), 4 日 16 時間 前
- 最新の安定ビルド (#224), 4 日 16 時間 前
- 最新の成功ビルド (#224), 4 日 16 時間 前
- 最新の失敗ビルド (#213), 1 ヶ月 5 日 前
- 最新の不成功ビルド (#213), 1 ヶ月 5 日 前
- 最新の完了ビルド (#224), 4 日 16 時間 前

プロジェクトへ戻る  
状態  
変更履歴  
コンソール出力  
View Build Information  
ポーリング  
パラメータ  
Timings  
Environment Variables  
Git Build Data  
前のビルド

## ビルド #224 (2018/10/12 15:14:31)

変更履歴

- ansible: Set IP address of influxdb for grafana (detail)

Gerritによるトリガー: <https://gerrit.opnfv.org/gerrit/63411>

This run spent:

- 7.6 秒 waiting;
- 5 分 2 秒 build duration;
- 5 分 10 秒 total from scheduled to completion.

リビジョン: 3e269c4c295e3dd81dfeaebe9de4c4a702e7f1d5

git

- refs/remotes/origin/master

ダッシュボードへ戻る  
状態  
変更履歴  
ワークスペース

## プロジェクト barometer-daily-master

ワークスペース  
変更履歴

ビルド履歴 推後

ビルドID	時刻	ステータス
#682	2018/10/17 2:14	成功
#681	2018/10/16 2:17	失敗
#680	2018/10/16 2:14	失敗
#679	2018/10/15 2:16	成功

永続リンク

- 最新のビルド (#682), 4 時間 25 分 前
- 最新の安定ビルド (#677), 3 日 4 時間 前
- 最新の成功ビルド (#677), 3 日 4 時間 前
- 最新の失敗ビルド (#682), 4 時間 25 分 前
- 最新の不成功ビルド (#682), 4 時間 25 分 前
- 最新の完了ビルド (#682), 4 時間 25 分 前

プロジェクトへ戻る  
状態  
変更履歴  
コンソール出力  
プレーンテキスト表示  
View Build Information  
パラメータ  
Timings  
Environment Variables  
Git Build Data  
前のビルド

## ビルド #682 (2018/10/17 2:14:00)

変更なし

定期的に実行

This run spent:

- 6 ms waiting;
- 3 分 3 秒 build duration;
- 3 分 3 秒 total from scheduled to completion.

リビジョン: 3e269c4c295e3dd81dfeaebe9de4c4a702e7f1d5

git

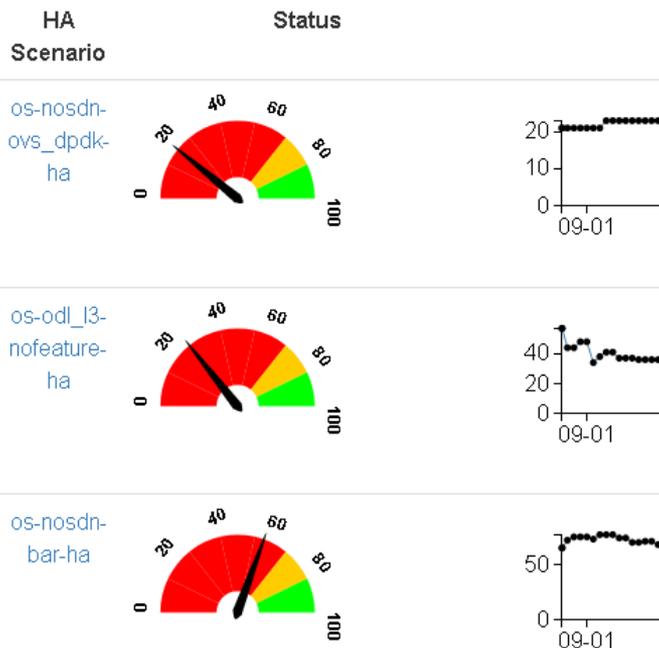
- refs/remotes/origin/master

# Testing Result Reporting



<http://testresults.opnfv.org/reporting/>

List of last scenarios (master) run over the last 10 days



各デプロイシナリオの  
テストOK状況サマリ

シナリオごとの  
テストOK状況

### os-nosdn-bar-ha

healthcheck

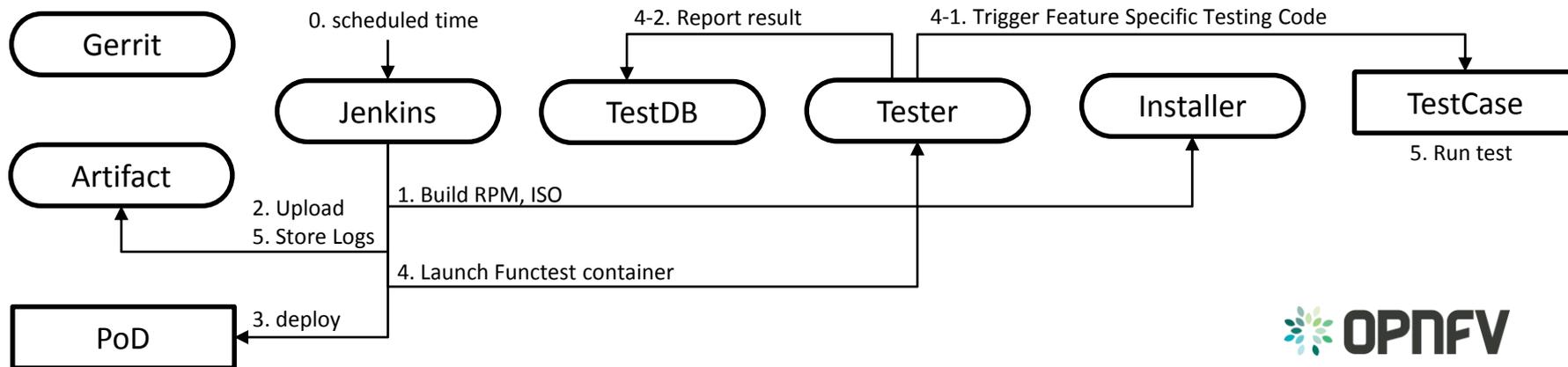
connectivity	tenant network 1	tenant network 2	vm ready 1	vm ready 2	single vm 1	single vm 2	vPing (ssh)	vPing (userdata)	cinder tests	api	dhcp

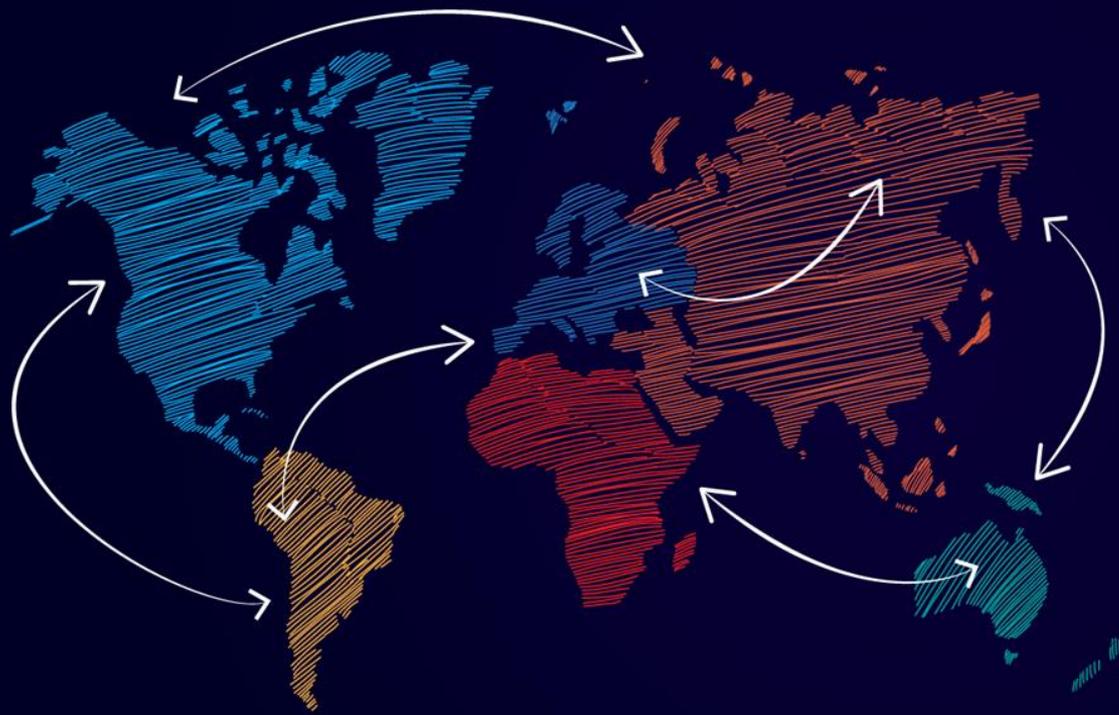
(中略)

features

Barometer

## 例) Apex Daily Job





自分たちが  
やったこと  
(DMAプロジェクト)



※青字が今回追加、変更した部分

- Barometerに対し、1つの機能を追加
  - Barometerリポジトリ
    - `src/dma/*` ← 新規作成、機能コードを配置
- そのテストの対応が必要
- 今回はOPNFVインストーラチームとは連携しない
  - Optional機能の位置づけ、使う人が手順に従い導入
- Barometerリポジトリ以外に手を入れたくない
  - そのプロジェクトに依頼を投げないといけない
  - マージタイミングがずれる



※青字が今回追加、変更した部分

- テストコード自体は、Barometerリポジトリにある
  - Barometerリポジトリ
    - src/dma/\*
    - baro\_tests/\*.py ← DMA用テストを追加、既存一部修正
    - requirements.txt ← 試験にpython-tomlが必要
      - ※現状は暫定でpython-tomlを使わないコードを入れている
  - Functestリポジトリ
    - (元々Barometerをbaro\_tests配下で試験するよう調整済み)
    - docker/features/Dockerfile ← 変更不要

※FunctestのDockerイメージに、python-tomlもちゃんと入っていた



※青字が今回追加、変更した部分

- Jenkinsが呼ぶコードは、Barometerリポジトリにある
  - Barometerリポジトリ
    - src/dma/\*
    - baro\_tests/\*.py
    - requirements.txt
    - src/Makefile ←src 配下のものをmake
    - ci/\*.sh ←必要なパッケージインストール + rpmbuild
  - Relengリポジトリ
    - jjb/barometer/barometer.yaml ←元々マージ済み、変更不要
      - Merge時にsrc/Makefile でmake、Dailyでci/\*.sh でrpmbuild

漏れです・・・今DMAコードってCIされてないです・・・後でやります



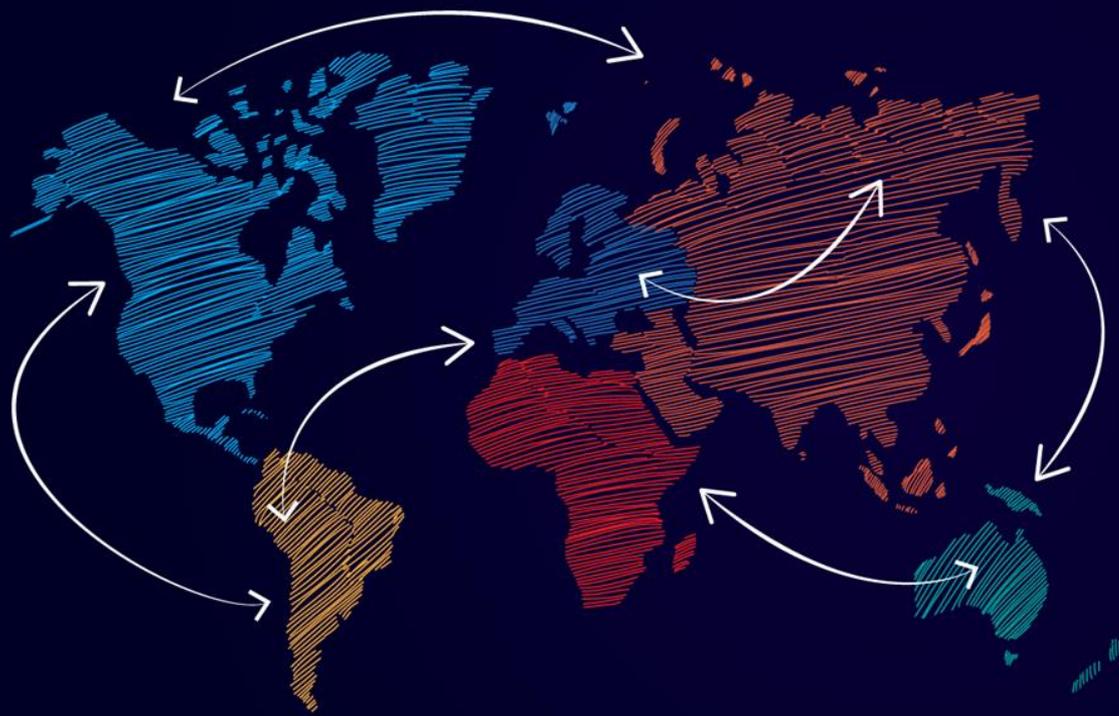
※青字が今回追加、変更した部分

- Barometerでは自分の機能試験コードのみを意識
  - Barometerリポジトリ
    - src/dma/\*
    - baro\_tests/\*.py ← DMA機能が動作している時のみテストするロジック
    - requirements.txt
  - Functestリポジトリ
    - (元々Barometerをbaro\_tests配下で試験するよう調整済み)
  - Apexリポジトリ ← 今回意識せず
  - Relengリポジトリ
    - (apex-daily: Apexで環境構築してfunctest-dailyを実施)
    - (functest-daily: baro\_tests含む機能試験を実施してResultをReport)



※青字が今回追加、変更した部分

- Barometerリポジトリのみの変更でテスト対応完了
  - Barometerリポジトリ
    - src/dma/\*
    - baro\_tests/\*.py
    - requirements.txt
    - src/Makefile
    - ci/\*.sh
  - ✓ 機能試験Dockerイメージ
  - ✓ Continuous Integration (今は漏れ・・・)
  - ✓ Testing Result Reporting (今は未対応)



# トラブル エピソード



## 我々のコードmerge時に、Jenkins jobでビルドエラー

(ファイル構成一部再掲)

### – Barometerリポジトリ

- src/Makefile ←src 配下のものをmake
- ci/\*.sh ←必要なパッケージインストール + rpmbuild

### – Relengリポジトリ

- jjb/barometer/barometer.yaml
  - Merge時にsrc/Makefile でmake、Dailyでci/\*.sh でrpmbuild

⇒ merge時のmakeは事前にパッケージの依存解決していない

⇒ たまたま我々のmerge時に、依存エラーを出すPodが使われた

※今は使うPodを問題ないものに決め打ち(他メンバが実施)

# テストコードのバグ長期内在



## Barometerテストコードは一時期、試験が必ずFAILになるバグが内在

(ファイル構成一部再掲)

- Barometerリポジトリ

- baro\_tests/\*.py ← ここにバグが内包
- src/Makefile
- ci/\*.sh

- Relengリポジトリ

- jjb/barometer/barometer.yaml
  - Merge時にsrc/Makefile でmake、Dailyでci/\*.sh でrpmbuild

⇒ Barometer内のCI ではFunctestは使われていない

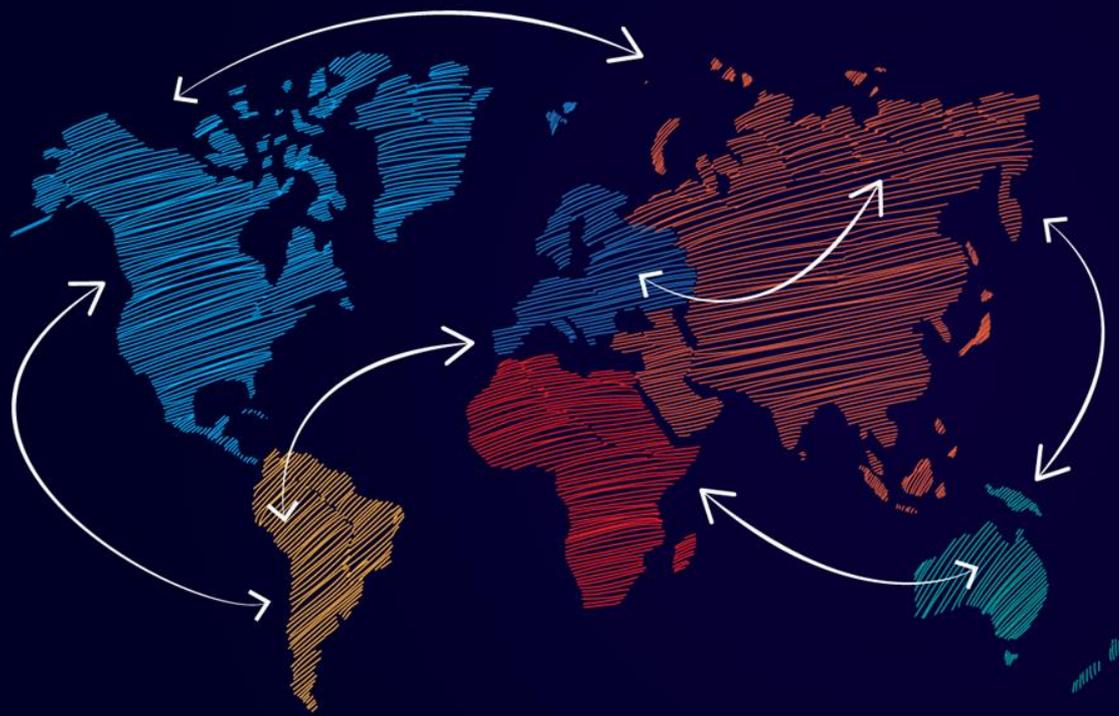
⇒ たまたまApexでは最近Barometerの試験は行われていなかった

⇒ Apexが試験すれば発覚するが、原因の判断が難しい

※今は修正済み(高橋が実施)



- 両方ともBarometerのファイル管理の問題ではある
- ゼロベースから試験対応を開始したとき、完璧な対応ができたか？  
と言われると厳しい
  - 試験Podのパッケージ等は、Barometer内で閉じる話ではない
  - インストーラプロジェクトが叩くテストコードの品質のあるべき姿は？
- あるべき姿・やりやすい姿の共有は欲しい
  - Testingチームからのガイドライン
  - Featureチームの経験からのファイル構成のベストプラクティス



まとめ



- フレームワークの実装はできている
  - FeatureプロジェクトはFeatureのTest実装に注力できる
  - OPNFV大枠の仕組みにきちんと反映される
- 運用面に改善の余地あり
  - 各プロジェクトのリポジトリの「あるべき姿」を共有したい
  - テスト開発時に何をすればいいのかすぐ理解したい
  - ドキュメントが欲しい



- OPNFVのコンポーネントと調べ方
  - <https://www.slideshare.net/r-mibu/opnfv-79129688>
- OPNFV Jenkins
  - <https://build.opnfv.org/ci/>
- OPNFV Testing group reporting
  - <http://testresults.opnfv.org/reporting/>